



BFTVisco

インライン自動粘度コントロールシステム

BFTVisco

BFT Visco は、フレキソ印刷におけるインキ粘度を自動制御する装置です。振動式センサーによってインキの粘度をリアルタイムで測定します。

さらに、設定値との偏差に応じて希釈剤(水)を自動的に追加して粘度を安定させることが可能です。

利点

- ・振動式センサーにより高精度で安定した粘度管理が可能
- ・回転式と比べ可動部が少ないためメンテナンスコストが減少、長期運用でも安定
- ・設定値との差分に応じて希釈剤を自動補正し、オペレーターの手間を削減
- ・色ムラ・濃度変動を抑制し、印刷品質を安定
- ・インキ・溶剤の無駄を減らし、ランニングコスト低減

製品仕様

| 項目 | 内容 |
|---------|--|
| 測定範囲 | 9~140秒(※Fordカップ#4換算) |
| 計測精度 | 0.1 秒(※Fordカップ#4換算) |
| 通信プロトコル | RS485 Modbus、Profinet、Profibus、Ethernet IP |
| 適用分野 | 水性フレキソインキ、ニス |
| アラーム出力 | 目視・音響・リレー出力 |





BFTGROUP

INNOVATIVE PRINTING SOLUTIONS

何故、粘度管理が必要なのか

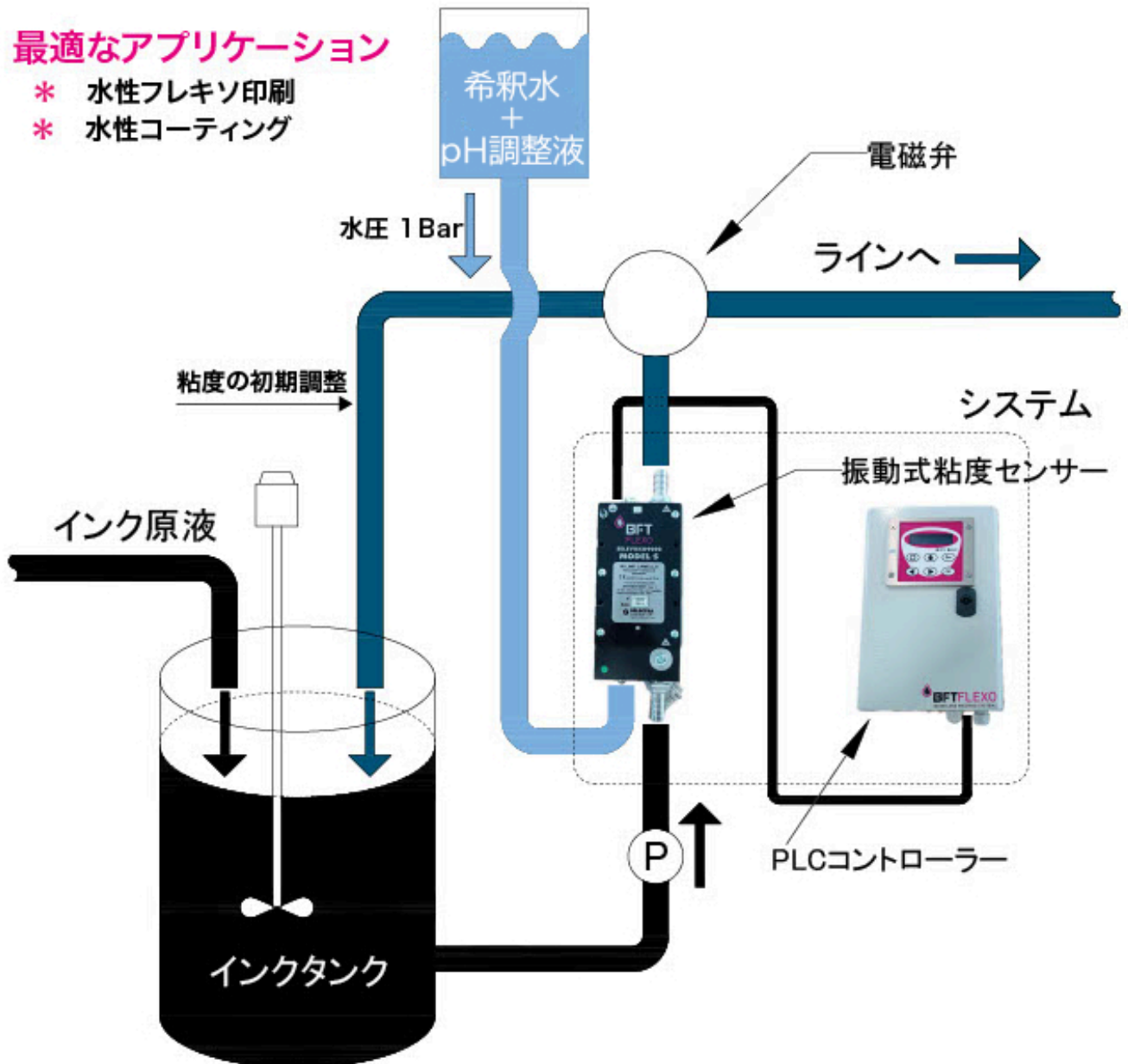
インクの温度・粘度・pHの管理は、印刷の仕上がり品質を決定的に左右する重要な工程の一つです。水性フレキシソインキの適切なpH範囲は8.5～9.5（弱アルカリ性）と言われています。これが酸性に傾くに従って粘度が上昇し、ひいてはインクの乾燥が進み、樹脂成分のゲル化が促進されます。

その結果、アニロックスロールのインク転移効率が悪化して印刷品質が低下するとともに、アニロックスセルにインキカスが固着し、事後の洗浄も困難になります。

BFT Viscoはこれらの問題を解決するだけでなく、インク消費量も大幅に削減できる最適なシステムです。インク消費量の大幅削減を最大の特徴とするBFTインキング&洗浄システムにおいて、BFT Viscoはその性能実現に不可欠な要素として標準採用されています。

最適なアプリケーション

- * 水性フレキシソ印刷
- * 水性コーティング



BFT社 その他製品について

カーボンチャンバー

・軽量、高剛性、長寿命

BFT社のカーボンチャンバーは、フルカーボン構造により、同サイズのアルミ製チャンバーと比べて

約1/3と大幅な軽量化が可能です。

さらに、カーボンは撥水性が非常に高く、腐食しない素材のため、アルミ製チャンバーでは避けられなかった腐食による交換が不要となり、長期的な費用対効果に優れています。



インク循環・洗浄システム

・インク・洗浄水・オペレーターコストの削減

BFT社のインク循環・洗浄システムは、インク供給からインク回収、洗浄、配管内部の自動クリーニングまで、あらゆるプロセスを一括で管理・自動化します。

さらに、廃液量は従来のインキングシステムと比べ最大50%の削減が可能です。人手を減らすだけでなく、インク・水・時間のコストを徹底的に抑え、生産効率の向上に貢献します。



ご連絡先



株式会社テクノサポート

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町23-5
TEL:06-6170-2663 FAX:06-6170-2663
MAIL:sales@technosupport.co.jp